



新たな経済システムと社会構造

令和7年8月25日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

資本主義と競争、自由経済と自由貿易という現在の経済の枠組みへ、国家における経済の安全保障とライフラインの維持という観点、また競争という現実への判断において新たな経済システムの模索と提案は可能である。

これら既存の経済システムは階層化する現実を生むことなどは、真実である。これらに対して経済が人々の生活の維持へ自己を行うという本来の経済の定義と観点から、新たな経済システムの提案を求めることはできるものである。

これらは社会の維持、生活の確保という優先において、国家における国家運営への安全保障の確保とともに、新たな経済の枠組みや世界経済における新たな合意とルールの提案を提示できるのである。

自由経済という世界の現実には、金融経済と実体経済という2つの枠組みを有する。これらがグローバルリム形成を与えるものであり、自由貿易という現実はその循環を与えるものである。

これらは資本主義の原則が富と競争において存在する中、格差の形成が現実において存在するものである。

これらは社会の2分化という現実を生み、富の格差がそれら原因として存在するものである。

これらは経済の必然が国家の維持と生活の維持において、その競争という原則に対する判断を求めることができる。

競争は人間における生存競争という原因に基盤するものであり、生存の保証が与えられることは、その新たな豊かさへの移行において可能なのである。

これらは既存経済システムの完全な転換へのアイデアであり、それらが生活の保障と国家の確立を独立と自立において行うことは、経済政策とともに新たな経済のルールを合意できるものである。